

急に寒くなってお庭の柿や桜の葉も大急ぎで色づきはらはらちりはじめました。でも子どもたちは元気いっぱい！秋を感じながらお散歩も楽しんでいます。お庭の渋柿を干し柿にしました。一人一人チューリップの球根も植えました。ヒヤシンスの球根は水栽培にして観察をします。秋の終わりから冬のはじめへと少しずつ季節が移り変わっていきます。2学期も残り少なくなりました。うがい手洗いをしっかり行い、体調に気を配りながら、元気に楽しくすごしていきましょう。



きりん組は 大文字山にのぼりました！

11月6日きりん組は大文字山へ。去年も登っていたので自信満々の子どもたち。でも年々増える台風や大雨で段差が大きくなったり道幅が狭くなっていたり、山道も変化しています。そんな状況のもと、保存会の方々が整備をしてくださっているのでしょう。危険なものは取り除いてあり、手すりが設置してあるなど、登りやすくなっている箇所もあります。木々も黄色やオレンジ色に色付き始め、秋まっ只中の大文字山を子ども達は、油断せずに慎重に登って行きました。山田誠リーダー、あきのり先生も一緒に。凸凹山道。段差の大きい道。狭い道たくさん階段。小鳥達のさえずりに励まされて登って行きます。予定より早く大の字の中央まで全員到着！！眼下に広がる京都の街！美味しい美味しいお弁当。達成感を味わい、またひとまわりたくましくなったきりん組の子どもたちです。



登り口です



林風 けれくなる！！



落葉が カカソ 音をたてて...



お先 細い山道、
長とけていこう！！



木々の間 山道を登っていくよ！！



最終のかいたん
あと少しだよ



いいながめ 長持ちい



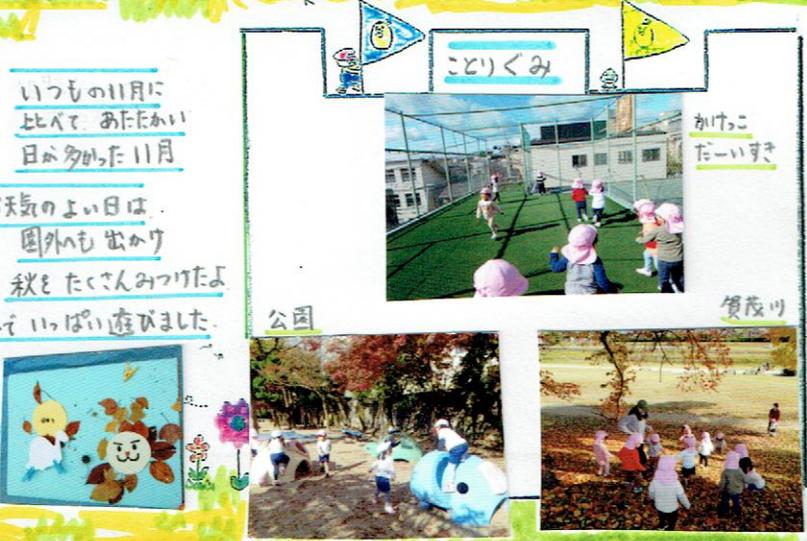
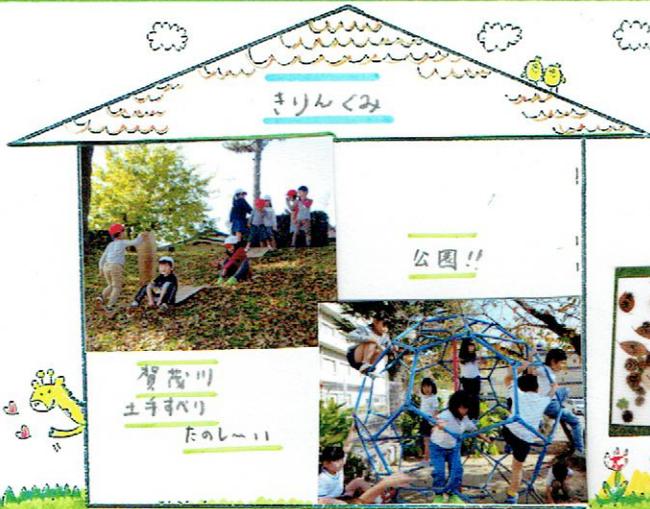
ヤッア〜！！



どんぐり どんぐり

お山のどんぐりは今年不作のようでどんぐりを好んで食べる熊さん出没のニュースが頻繁に流れています。 植物園のどんぐりの出来具合はどうでしょう？

きりんさんたちは植物園のどんぐりの出来に合わせて、11月10日 植物園に出かけました。今年も「大学で研究をしておられる」どんぐり博士さん（卒業生大橋君のお母様）がきりん組のみんなのために来てくださいました。植物園を博士と一緒に歩きました。しりぶかがし・まてばしい・あべまき・いちいがし・ならがしわ・くぬぎなどをひらいながら、博士からどんぐりについて沢山お話をうかがいました。拾ったどんぐりを種類ごとに観察。一口にどんぐりといっても各々違うことに気がつき、博士からいろいろな視点からのお話も聞かせてもらいました。幼稚園に帰ってからもどんぐり標本づくりに挑戦したり！むくろじをペットボトルに入れてふりふりして泡の石鹸水を作ったり（ムクロジの石鹸！）あべまきにペイントしてコマを作ったり！お部屋はきりんどんぐり博士でいっぱいです。どんぐり博士さんたくさんのお話を聞いていただきまして本当にありがとうございました。



おむすび パーティー

ことり（11日）・うさぎ（10日）・ぱんだ（18日）・きりん（17日）それぞれおむすびパーティーをしました。稲穂を観察したり、お米に変身するまでのお話を聞いたり。それぞれのクラスで出来ることを話し合い、お米をあらって炊飯器で炊き上げました。ご飯が炊けるいい匂い。一人一人おむすびを握りました。とっても美味しかったよ！幼稚園のおむすびパーティーがとっても嬉しかった子どもたち。おうちでもおむすびパーティーを楽しんだり、おやつ作りや夕飯のお手伝いを楽しみにしていたり。いろいろなお話で盛り上がっている子どもたちです。



11月24日 きりん組・ぱんだ組 梅小路園外保育

きりん組ぱんだ組は大型バスに乗って梅小路へ。鉄道博物館を見学しました。たくさんの蒸気機関車が展示されておりそれぞれの特徴に興味津々。ぱんだ組は蒸気機関車にも乗りました。大好きな♪きしゃのうた♪の通りの 白い湯気と黒い煙。石炭も見せてもらいました。汽笛の音は大迫力！電車とは違った構造にたくさんの発見がありました。きりん組は車両模型が沢山走るジオラマも見学しました。予約をしての見学ではゆっくりじっくり観察することができてみんな満足しました。ひとりひとり発券機で切符を買って改札を通したり、運転席で運転手さんになって運転体験もしました。お天気もよく楽しい半日を過ごしました。



みてみて ほくたちわたしたちのアートリレー

京都の私立幼稚園の子どもたちのために京都でご活躍の美術家の先生たちがしてくださった表現遊びや創作活動の提案！！楽しく素敵な提案を受けていろいろな造形あそびを楽しみました。それぞれのクラスのアそびを繋げたら素敵な世界になりました！

☆『描いてないのに描けちゃった』 永田萌先生の提案

カラーインクには、なんとびっくり白色がないそうです。白色を表現するには原紙の白色を塗り残す手法を用います。この手法を用いてみんなで広い大空を。濃い緑と薄い緑で草原を描いていきます。

うさぎ組は秋晴れの日、空を見上げて思い思いに大空を描きました。

ことり組は濃い緑と薄い緑を大きな刷毛で描きみんなの絵をつなげて草原に。

☆『みっつのいろからひろがるふしぎ』 おかだ美保先生の提案

赤・青・黄の3色を混色することで無限の色が……。手で筆で。自分の手に魔法をかけていろいろな色をつくりだしてみましよう。

色遊びが大好きなばんだくみの子ども達は虹を描きたい！3色の混ぜ加減がとても難しかったけれどみんなで試行錯誤を重ねながら取り組み 虹が完成しました！！

☆『自然の中でなりきりお面をつくろう！』 *tupera tupera* お二人による提案

用意されてるのは顔の輪郭の画用紙だけ。子ども達がイメージした顔を落ち葉やお花・小枝・木の実・草等自然物を用いて作っていきます。「わたしはだあれ？きみはだあれ？」どんな顔ができるのでしょうか。

きりん組の子どもたちはほくの、〰️な顔 わたしの、〰️な顔それぞれイメージをふくらませ、お庭で材料を見つけて取り組みました。



みんなの さくひんを つなげたら・・・
ほら、ホーがすてきな世界に！！

ことりさん



うさぎさん



きりんさん



ばんださん

